

6 研究の概要

1 「21世紀型スキル」とは？

「21世紀型スキル」とはインテル（※）が提唱している「児童・生徒が21世紀の社会に必要とする能力」のことである。具体的なスキル（能力）としては「課題を見つける」「創造する」「主体的に情報・知識を収集する」「意思決定ができる」「最後までやりぬく」「ICTを思考の道具として活用できる」「相手を思いやる」「役割を果たす」「他者と協力するまたは協働する」という9つの観点を挙げている。本校ではその中から教科等の目標を達成する手段として「ICT機器を思考するための道具として活用できる力」と「友達と協力して教え合い、学び合う力」の2つに焦点を絞り、具体的な子どもの姿を学年部ごとに設定した。※アメリカの半導体メーカー

観 点	低 学 年	中 学 年	高 学 年
ICT機器を思考するための道具として活用できる力	<ul style="list-style-type: none"> ○ カメラ機能で必要な情報を記録したり、発表したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の考えをローマ字で、パソコンに入力し、保存や再利用することができる。 ○ インターネットで調べ活動をし、自分の考えを広げることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の考えを深めるために、インターネットを使って調べることができる。 ○ ICT機器を使って自分の考えをまとめ伝えることができる。 ○ ICT機器を使って友達と意見交換ができる。
友達と協力して教え合い、学び合う力（再考する力）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題を解決するために自分の意見を発表したり、友達の意見をしっかりと聴いたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話し合いの中で友達と意見交換を行い、共通点や相違点を考えながら話したり聴いたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の立場や意図をはっきりさせながら話し合い、自分の意見と比べながら考えをまとめることができる。

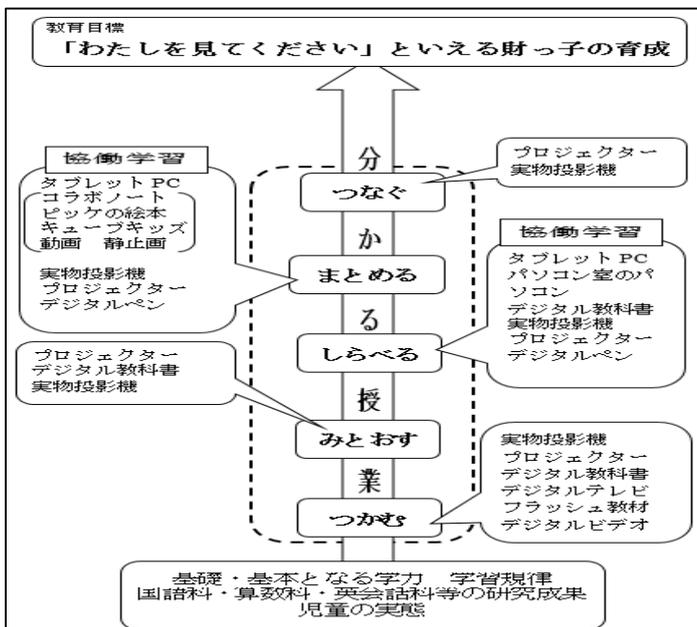
2 「考える」「分かる」「伝え合う」とは？

「考える」	これまでの学習や生活経験を生かして、比較したり関係づけたりしながら学習課題を解決するために考えをもつこと。
「分かる」	自分の考えを基にして、根拠となるものを明らかにしながら整理し、理解したり判断したりすること。
「伝え合う」	考え、分かったことを言葉や図表等の様々な表現方法を用いて根拠を明らかにしながら表現すること。また、それを自分の考えと比較しながら聴くこと。

3 「協働学習」とは？

児童が互いの意見や考えを出し合う中で相互に認識し、ICT機器等を通して理解し、それらをベースにして、新しいものを生み出す学習

4 一単位時間のICT機器の活用場面例



5 協働学習構想図

